

白 監 第 7 0 号
令和 6 年 8 月 2 1 日

白井市長 笠井 喜久雄 様

白井市監査委員 河合 謹爾



白井市監査委員 小田川 敦子



令和 5 年度白井市水道事業会計決算審査意見書の提出
について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された令和
5 年度白井市水道事業会計決算を審査したので、次のとおり意見書を提
出します。

令和5年度

白井市水道事業会計
決算審査意見書

白井市監査委員

目 次

第一	審査の対象	1
第二	審査の期間	1
第三	審査の場所	1
第四	審査の方法	1
第五	審査の結果	1
第六	審査意見	1
第七	決算の概要	3
1	予算の執行状況	3
(1)	収益的収入及び支出	3
(2)	資本的収入及び支出	3
2	経営成績	4
(1)	損益計算書	4
(2)	業務実績	5
3	財政状況	6
	貸借対照表	6
参考		7
	経営分析比率	7

凡 例

比率(%)は、原則として小数点第2位以下を切り捨てして表示しました。

令和5年度 白井市水道事業会計決算審査意見書

第一 審査の対象

令和5年度 白井市水道事業会計決算

第二 審査の期間

令和6年8月5日（月）、6日（火）、7日（水）、8日（木）の4日間

第三 審査の場所

白井市役所 東庁舎3階 監査委員室

第四 審査の方法

決算の審査にあたっては、「白井市監査基準及び令和6年度白井市監査計画」に準拠して、令和5年度白井市水道事業決算及び事業報告書に基づき、計数の正否、予算執行の適否等について、的確に実施されているか否かについて、関係諸帳簿及び証書類を照合するとともに必要に応じて職員から説明を聴取し、例月現金出納検査及び定期監査の結果を参考として、審査を実施した。

第五 審査の結果

審査に付された水道事業会計決算書及び事業報告書については、決算審査資料、関係諸帳簿等と照合して審査を行った結果、計数は正確であり、予算の執行についても、目的に沿って適正に執行されており、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

第六 審査意見

財政状況については、収益的収支の状況は、水道事業収益 565,957,459 円に対し、水道事業費用 557,294,458 円で、収益的収支差引 8,663,001 円の純利益が生じ、この結果、当年度未処分利益剰余金が 195,018,358 円となっている。

資本的収支は、資本的収入額 56,863,000 円に対し、資本的支出額 102,041,519 円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する 45,178,519 円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、留保資金 45,178,519 円で補てんされている。

水道事業の経営基盤を示す経営分析比率を見ると、若干の改善傾向にあるが、いずれも良好な数値とは言えず、必要な収入を確保するためには、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない厳しい経営状況が続いている。また、給水単価と供給原価の間に 61.3 円の差額が生じている。令和5年度からの受水費の値下げにより改善傾向にあるものの、費用超過となっている状況は依然として変わらない。

今後、施設の老朽化に伴い施設更新に係る費用の増加も見込まれることから、水道事業を取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されるため、最小の経費で最大の効果を得られるように効果的な事業運営及び経営の確保に努められたい。

第七 決算の概要

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収入

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	執行率(B/A)
水道事業収益	632,640,000	609,396,943	△ 23,243,057	96.3
1 営業収益	460,234,000	446,503,815	△ 13,730,185	97.0
2 営業外収益	172,405,000	162,893,128	△ 9,511,872	94.4
3 特別利益	1,000	0	△ 1,000	0.0

支出

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額(A-B)	執行率(B/A)
水道事業費用	632,640,000	596,187,379	36,452,621	94.2
1 営業費用	621,310,022	587,895,882	33,414,140	94.6
2 営業外費用	8,289,978	8,289,978	0	100.0
3 特別損失	40,000	1,519	38,481	3.7
4 予備費	3,000,000	0	3,000,000	0.0

収益的収入は、予算額は 632,640,000 円に対し、決算額は 609,396,943 円で、増減額は 23,243,057 円の減少となっている。

収益的支出は、予算額は 632,640,000 円に対し、決算額は 596,187,379 円で、不用額は 36,452,621 円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

収入

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	執行率(B/A)
資本的収入	84,019,596	56,863,000	△ 27,156,596	67.6
1 企業債	26,100,000	24,900,000	△ 1,200,000	95.4
2 出資金	48,812,596	22,856,000	△ 25,956,596	46.8
3 補助金	9,107,000	9,107,000	0	100.0
4 負担金	0	0	0	

支出

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A-B-C)	執行率(B/A)
資本的支出	361,375,520	102,041,519	259,332,987	1,014	28.2
1 建設改良費	316,522,520	57,189,533	259,332,987	0	18.0
2 企業債償還金	44,076,000	44,075,077	0	923	99.9
3 補助金返還金	777,000	776,909	0	91	99.9

資本的収入は、予算額は 84,019,596 円に対し、決算額は 56,863,000 円で、増減額は 27,156,596 円の減少となっている。

資本的支出は、予算額は 361,375,520 円に対し、決算額は 102,041,519 円で、不用額は 1,014 円となっている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 45,178,519 円については、過年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額及び留保資金 45,178,519 円で補てんされている。

2 経営成績

(1) 損益計算書

(単位：円・%)

区 分	金 額		比 較	
	(A)令和5年度	(B)令和4年度	(C)増減額 (A-B)	増減率(C/B)
営業収益	406,379,135	405,847,778	531,357	0.1
営業費用	548,687,291	562,022,863	△ 13,335,572	△ 2.3
営業利益(△営業損失)	△ 142,308,156	△ 156,175,085		
営業外収益	159,578,324	199,649,327	△ 40,071,003	△ 20.0
営業外費用	8,605,788	8,856,012	△ 250,224	△ 2.8
経常利益 (△経常損失)	8,664,380	34,618,230		
特別損失	1,379	2,110	△ 731	△ 34.6
当年度純利益 (△純損失)	8,663,001	34,616,120		
当年度未処分利益剰余金	195,018,358	186,355,357		

営業収益 406,379,135 円の内訳は、給水収益 404,784,135 円、その他の営業収益 1,595,000 円で、前年度と比較して、給水収益は 446,615 円の増加、その他の営業収益は 84,742 円の増加、全体で 531,357 円の増加を示している。

営業収益に対応する営業費用 548,687,291 円の内訳は、原水及び浄水費 284,712,402 円、配水及び給水費 71,179,519 円、総係費 64,414,613 円、減価償却費 128,266,260 円、資産減耗費 114,497 円で、前年度と比較して、原水及び浄水費 17,627,158 円の減少、配水及び給水費 9,845,746 円の増加、総係費 1,892,323 円の減少、減価償却費 1,004,852 円の増加、資産減耗費 4,666,689 円の減少、全体では 13,335,572 円の減少を示している。

営業外収益 159,578,324 円の内訳は、給水申込納付金 18,260,000 円、他会計補助金 65,011,000 円、県補助金 30,773,000 円、長期前受金戻入 45,307,320 円、雑収益 76,422 円、引当金戻入益 150,582 円で、前年度と比較して、40,071,003 円の減少を示している。

営業外費用 8,605,788 円の内訳は、支払利息及び企業債取扱諸費 8,289,978 円、雑支出 315,810 円で、前年度と比較して、250,224 円の減少を示している。

特別損失の内訳は、過年度損益修正損 1,379 円で、前年度と比較して 731 円の減少を示している。

この結果、営業収益より営業費用が上回り、営業損失が 142,308,156 円となっている。

この営業損失に営業外収益及び営業外費用を加減した経常利益は 8,664,380 円、経常利益に特別損失を加えた当年度純利益は、前年度と比較して、25,953,119 円減少し、8,663,001 円となっている。

(2) 業務実績

区 分	(A)令和5年度	(B)令和4年度	比 較	
			(C)増減 (A-B)	増減率 (%) (C/B)
年度末給水人口 (人)	19,397	19,656	△ 259	△ 1.3
年度末給水戸数 (戸)	8,133	8,069	64	0.7
年間給水量 (m ³)	1,775,471	1,773,215	2,256	0.1
年間有収水量 (m ³)	1,747,649	1,748,092	△ 443	0.0
有収率 (%)	98.4	98.5	△ 0.1	0.0
供給単価 (円)	231.6	231.3	0.3	0.1
給水原価 (円)	292.9	300.6	△ 7.7	△ 2.5

年度末給水人口は19,397人で、前年度と比較して、259人の減少となり、年度末給水戸数は8,133戸で、前年度と比較して、64戸の増加となっている。

年間給水量は1,775,471 m³で、前年度と比較して、2,256 m³の増加となり、年間有収水量は1,747,649 m³で、前年度と比較して、443 m³の減少となっている。

有収率は98.4%で、前年度と比較して、0.1ポイントの減少となっている。

供給単価と給水原価を比較すると、61.3円の差額が生じている。

この差額を改善していくためには、適切な対応を講じていく必要がある。

3 財政状況

貸借対照表

(単位：円・%)

区 分	金 額		比 較	
	(A)令和5年度	(B)令和4年度	(C)増減額 (A-B)	増減率(C/B)
固 定 資 産	4,069,355,941	4,145,093,728	△ 75,737,787	△ 1.8
流 動 資 産	1,207,866,348	1,132,615,842	75,250,506	6.6
資 産 合 計	5,277,222,289	5,277,709,570	△ 487,281	0.0
固 定 負 債	1,086,874,114	1,120,648,303	△ 33,774,189	△ 3.0
流 動 負 債	150,893,521	112,148,385	38,745,136	34.5
繰 延 収 益	1,380,359,618	1,417,336,847	△ 36,977,229	△ 2.6
負 債 合 計	2,618,127,253	2,650,133,535	△ 32,006,282	△ 1.2
資 本 金	2,463,739,309	2,440,883,309	22,856,000	0.9
剰 余 金	195,355,727	186,692,726	8,663,001	4.6
資 本 合 計	2,659,095,036	2,627,576,035	31,519,001	1.1
負債・資本合計	5,277,222,289	5,277,709,570	△ 487,281	0.0

○資 産

資産の総額は 5,277,222,289 円で、前年度と比較して、487,281 円の減少となっている。

そのうち、固定資産は 4,069,355,941 円で、前年度と比較して、75,737,787 円の減少となっている。

流動資産は 1,207,866,348 円で、前年度と比較して、75,250,506 円の増加となっている。

○負 債

負債の総額は 2,618,127,253 円で、前年度と比較して、32,006,282 円の減少となっている。

そのうち、固定負債は 1,086,874,114 円で、前年度と比較して、33,774,189 円の減少となっている。

流動負債は 150,893,521 円で、前年度と比較して、38,745,136 円の増加となっている。

繰延収益は 1,380,359,618 円で、前年度と比較して、36,977,229 円の減少となっている。

○資 本

資本の総額は 2,659,095,036 円で、前年度と比較して、31,519,001 円の増加となっている。

そのうち、資本金は 2,463,739,309 円で、前年度と比較して、22,856,000 円の増加となっている。

剰余金は 195,355,727 円で、前年度と比較して、8,663,001 円の増加となっている。

参 考

経営分析比率

(単位：千円)

区 分	比 率		算 式 等
	令和5年度	令和4年度	
自己資本構成比率	76.5%	76.6%	自己資本 ÷ 負債・資本合計 × 100
営業収支比率	74.0%	72.2%	営業収益 ÷ 営業費用 × 100
施設利用率	89.6%	88.5%	一日平均配水量 ÷ 配水能力 × 100
最大稼働率	100.0%	100.0%	一日最大配水量 ÷ 配水能力 × 100
経営資本回転率	0.077 回/年	0.080 回/年	営業収益 ÷ 経営資本 (総資産-建設仮勘定)

区 分	令和5年度	令和4年度	県平均値 ※1	全国平均値 ※2
給水人口 ※3	3,879人	3,931人	2,774人	2,548人
有収水量 ※3	349,530m ³	349,618m ³	296,453m ³	293,765m ³
営業収益 ※3	81,275千円	81,169千円	69,083千円	52,952千円

※1

令和4年度市町村公営企業決算概況(千葉県 給水人口1.5万人以上3万人未満)から積算

※2

令和4年度地方公営企業年鑑(給水人口1.5万人以上3万人未満)から積算

※3

いずれも職員一人あたりの数値(令和5年度損益勘定所属職員数(水道事業の営業活動に従事する職員 令和4年度：5名、令和5年度：5名))